

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年8月24日

施設名	高知県立交通安全こどもセンター	所管課室	県民生活・男女共同参画課
-----	-----------------	------	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	特定非営利活動法人 たびびと	指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	高知市比島町4丁目8番地		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の許可等に関する業務 ・利用料金の徴収に関する業務 ・施設等の維持管理に関する業務 ・交通安全指導の実施に関する業務 ・交通安全こどもセンターの設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務 		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積 : 13,300㎡ ・施設・設備 : 模擬交通施設、交通教室、事務所、教材格納庫、ゴーカート、自転車、蒸気機関車等 ・開園時間 : 午前8時30分～午後6時 ・休園日 : 12月27日から翌年の1月1日まで ・利用料金 : ゴーカート 1人乗り 100円/回、2人乗り 150円/回 2人乗り回数券 1,500円/11回 		
職員体制	常勤職員: 2人 非常勤職員: 1人 パート: 5人 合計: 8人		

2 収支の状況

単位:千円

		20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
収入	県支出金	4,135	5,500	5,140	5,316
	使用料・手数料	7,799	8,544	7,946	7,490
	その他	151	113	243	0
	収入計 (a)	12,085	14,157	13,329	12,806
支出	管理運営費	3,949	5,054	4,657	4,864
	人件費	8,381	9,084	9,061	7,942
	支出計 (b)	12,330	14,138	13,718	12,806

3 利用状況

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	111,123	129,189	121,969	116,000
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)			
		一般来園者	交通安全教室利用者	交通安全ひろば (高知市中央公園で開催)
	時期	通年	同左	H22.9.23
	方法	アンケート用紙配布	同左	同左
	回答数	147	74	383
	調査結果	ゴーカートが楽しい、走行距離を長くしてほしい、値段を下げてほしい等ゴーカートに対する意見。もっと遊具を増やしてほしい等施設に対する意見。また、駐車場の増設に対する要望などがあつた。	・交通ルールをわかりやすく指導いただき勉強になりました。 ・来園するたびに環境整備がきれいにできて入ると感じます。 ・その他、トイレの設置についての要望など、様々な意見が寄せられている。	交通公園への来園目的、施設の認知度を計ることができた。 認知度:93%
③その他特記事項	○その他 アンケートについては、昨年度は管理棟の改築を行い、新しい施設に対する期待などおおむね好意的な意見がほとんどであった。 利用者から寄せられた意見・要望等については、随時、修正できるところは修正を行い、施設運営の改善に反映できるよう努力が払われている。			
	・交通安全指導を目的とした施設であるが、地域の公園としての機能をも考慮した取り組みがなされており、ボランティア養成にも積極的に取り組むなど、多様な施設利用を展開している。交通安全のみならず、子育て支援といった分野の活動としても評価できる。 ・平成22年度は、事務所棟の改築を行った。そのため、8月以降は隣接の旧歯科医師会館に事務所を移転しての営業となったが、指定管理者の努力により、ゴーカート発着場に常時1名の配置を行い、工事を行う際の来園者への安全を十分確保することともに、来園者等への影響を最小限に抑えることが出来た。 ・本年度も地元自主防災組織と合同で防災訓練を行うなど周辺地域住民との連携も積極的に行っている。			

4 平成22年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保に関する取組	管理棟の改築工事が行われた中で、日常業務を適正に消化されたことは、評価大である。 広報活動も充実し、多くのイベントを開催するなど、多くの市民に親しまれる施設となっている。 ボランティアとの協力関係を保つことは、地域の施設として大変重要なことで、よく実行されている。 事務所改築工事による収入減という厳しい予算の中、ボランティアやアルバイトを活用し、適正な運営が行われている。
②施設利用促進等に関する取組	アンケートによる苦情がほとんどなく、交通ルールの掲示など、アンケートによる要望にすぐ対応しており、来園者から概ね好評である。 様々な団体と連携したイベントを実施し、ネットワークづくりと利用者拡大に努めている。 施設目的に沿った交通安全教育の増加を目指す努力がうかがえる。
③経営状況	工事に伴う厳しい予算の中で、最小限の赤字におさえている努力がうかがえる。 自助努力で他の助成金を活用し、赤字を少なくしている。今期は建替えの影響があるなか、まずまずの実績と考える。
総合評価	B 全体的に適正な運営管理がされている。また、当初の契約時点ではなかった事務所棟の改築工事を行う、という悪条件の中でよく努力している。 工事期間中の入場者が減少してもおかしくない時期に、交通安全教室の拡充等いろいろ努力を行っている。 今後は、防災訓練等の拡充(避難訓練の実施等)に期待する。 仕様書以上の努力をされている部分もあり、B評価ではあるが、Aに限りなく近いB評価である。

【評価の目安】

- A: 仕様書に定める業務内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた
 B: 概ね仕様書に定める業務内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた
 C: 仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する